



伝書鳩だより

発行: 特定非営利法人 伝書鳩

伝書鳩サービス

所在地: 京都府宇治市広野町丸山 29-2

電話番号: 0774-41-3490

令和7年

春夏号



皆さま、こんにちは。若葉が目眩しい好季節、いかがお過ごしでしょうか。伝書鳩だより令和7年春夏号をお届けいたします。さて、私たちを取り巻く社会は、常に変化し続けています。来たる2025年4月に、ここ関西で再び万国博覧会が開催されましたね。1970年の大阪万博を体験された方々にとっては、懐かしい記憶が蘇るとともに、未来への新たな期待が膨らむのではないのでしょうか。伝書鳩にいられている利用者さんが「着物を着てお抹茶を点てに行ったわ」と話されているのを聞き、日本国民全体でとても盛り上がったことと思います。また、当時、世界に希望を与えた祭典の記憶は、私たちの心に深く刻まれています。

一方で、近年、物価の高騰が続いており、皆さまの生活にも様々な影響が出ていることと存じます。しかし、このような状況だからこそ、人生経験豊かな利用者の皆さんの視点が変化の激しい現代において羅針盤となるものです。世代を超えて語り合い、互いに支え合うことの大切さを感じていただければ幸いです。

お花見

井手町玉川・宇治市植物園・宇治田原町
にて



今年は晴天に恵まれ、満開の桜を長く楽しむ事ができました。
桜の下では、杖を使われている方も足取りが軽く笑顔で散策を楽しまれていました。



伝書鳩

日々つれづれ

★カレーづくり★



ある男性利用者の方が発起人となり、皆で昼食のカレーを作りました。人参をすりおろして作るフランス風カレーは驚きの美味しさでした。

★ティッシュカバーづくり★

余り布を使って、ティッシュカバーを製作しています。できあがった作品は、宇治橋商店街の『うじ・はんどめいどショップ』で販売され、好評をいただいています。



川柳づくりにて

梅の花が咲きそろったある日、「川柳を作ってみませんか」と持ちかけてみました。

『梅』をお題にしたところ、昔母親に作ってもらった『梅干し』を思い出された方が多く、その塩加減や上手に作るコツを文字にされていました。そんな中、ふと昔好意を寄せていた方を思い出された方もおられ、「あの人のどうしているかな」「きっと変わってしまっているやろね、私も変わったし」と話されていました。

川柳づくりが利用者の方の過去をたどるきっかけとなったと感じた次第です。

